

ダムっ湖

2006.1.15
三国川ダム管理所発行



明けましておめでとうございます!!!



新年明けましておめでとうございます。

三国川ダム管理所長 平賀憲太郎

いま、三国川ダムでは白い雪に覆われ、まさにミオカホワイトの「白の世界」です。

春から秋にかけて大勢の来訪者を迎えた三国川ダムも、今は訪れる人も少なく、湖面は水を満々と蓄え、多くの水鳥が戯れています。

このような三国川ダム周辺ですが、管理所では、出水期に備え、今でしかできない改修工事を営々と進めております。また、水環境の改善及び既存施設の有効活用を図るための方策の検討や融雪出水を始め、洪水発生時に適切なダム管理ができるよう所員一同その準備を進めております。

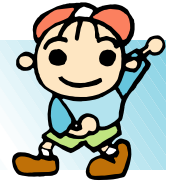
雪が消え、木々が芽吹く頃の三国川ダム周辺は新緑ですばらしい景観です。是非皆様の来訪をお待ちしております。

②



りっちゃん

冬のおしごと「ダムコンの更新」



さぐくん

10月1日～5月31日までの期間を「非洪水期間」と呼んでおり、文字通り“洪水期間ではない”という訳で、洪水の心配はあまりしなくても良くなります。ただし、施設管理の面では、非洪水期間になると、発電設備や放流ゲートなどにおいて、施設の運用を一時停止しなければならないような大がかりなメンテナンスを行うことになります。

ということで、^{げんとう}厳冬期においてもダムの機能を維持するための“冬のおしごと”が待っており、そのうちの大きな仕事として、今冬はダムコンの更新を行っているところです。

^{ひび}響きも重々しいこの「ダムコン」ですが、^{せいぎょ}実際、^{りやくしゅう}ダム管理職員をサポートしてくれる頼もしい設備です。

ダムコンとは「ダム管理用制御処理設備」の略称で、ダムの貯水管理に不可欠なデータを演算し、必要なデータを全て表示及び印刷ができるため、それらのデータを確認しながら、放流ゲートの操作を行えるように開発されています。

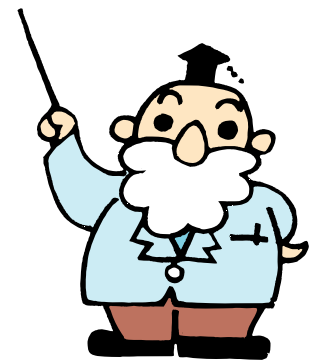
しかしながら、当時の最新設計を導入し、最新のコンピュータを使用していたダムコンも、今ではすっかり古いシステムになってしまいました。日々^{いしる}進歩の著しい電気通信分野で、設置後14年経過した現在は、メーカーでも当時の製品に使用していた部品ストックがなくなっており、これ以上システムを維持していくことができなくなってしまいました。

現実の問題として、メーカーでストックのない機器が故障した場合には、ダム管理所で確保している予備部品に交換して維持してきている状態のため、今回、今までお世話になった現在のダムコンを更新することにしました。(T_T)

ダムコンは、基本的に停止することができない重要なシステムなので、現在のダムコンを全て^{てつきょ}撤去してから新しいダムコンを設置するという訳にはいきません。非洪水期間とはいっても、毎日ダム管理に必要なデータを演算し、管理しなければなりませんし、ゲート进行操作することもあるかもしれません。

そのため、現ダムコンで管理を行いながら、新ダムコンが動作できるように設置調整して、ある時期に一気に切り替えを行うこととなります。この原稿を書いている時点で、新ダムコンの機器を設置し始めていますので、平成18年2月初めには、無事、新ダムコンが働き始めている予定です。

今年も、新ダムコンとともに、洪水期間の備えに万全を期すとともに、より一層、安全な^{まいしん}ダム管理ができるように邁進して参ります。(^_^)



さぐり博士



現ダムコンの操作卓
(平成17年10月までの勇姿)



現ダムコン操作卓は窓際？(写真中央向こう側)へ仮移設完了
手前が新ダムコン操作卓
(平成17年12月工事中)



向こう側が現ダムコン処理装置
手前側が未だ動いていない新ダムコン処理装置
(平成17年12月工事中)



みんな～ 三国川ダムに来てね～!!



平成17年度、529名の小学生の皆さんが社会科授業の一環として、三国川ダムの見学にいっしょにしました。皆さんには、ダムの役割の説明を受けた後に、^{かんさろう}監査廊(点検用地下トンネル)・ダム操作室及び展示室の見学をしてもらいました。

特に、^{かんさろう}監査廊に興味を持って見学してくれて、私達は、皆さんからするとい質問をもらって、「タジタジ」になってしまう事もありました。

また、小学生の皆さんから(心温まる!)お礼のお手紙をたくさんもらい、職員一同大変喜んでおります。皆さん、どうもありがとう!

今年も5月から、三国川ダムの^{かんさろう}監査廊見学が始まります。

三国川ダム管理所では、ダムについての説明・各施設のご案内しております。

是非、お気軽にお申し込み下さい!!

私達も、小学生の元気な皆さんがいっぱい見学に来られるのを楽しみに待っています。

みんな～三国川ダムに来てね～!!

17年度 見学者集計表(総合学習)

年	月	日	小学校名	人数	累計	市町村
17	5	12	浦佐小学校4年生	46	46	南魚沼市
	5	25	六日町小学校4年生	98	144	南魚沼市
	6	13	栃窪小学校全校	15	159	塩沢町
	6	14	上関小学校4年生	27	186	塩沢町
	7	4	五十沢小学校4年生	20	206	南魚沼市
	7	5	五十沢小学校2年生	20	226	南魚沼市
	7	5	第二上田小学校4年生	17	243	塩沢町
	7	7	藪神小学校4年生	35	278	南魚沼市
	7	11	赤石小学校4年生	23	301	南魚沼市
	7	15	川口小学校5年生	34	335	川口町
	7	28	上関小学校5年生	22	357	塩沢町
	8	5	大崎小学校	9	366	南魚沼市
	9	13	中島小学校4年生	62	428	長岡市
	10	11	大崎小学校4年生	37	465	南魚沼市
	11	2	城内小学校4年生	64	529	南魚沼市
計			15組		529人	



社会(総合)学習のお手伝いを行っています。

申し込み・お問い合わせ先
三国川ダム管理所 総務係
TEL 025-774-3015

来たれ、総合学習!

紅葉ウォークを終わって



魚沼みどりの会 星野輝征



昨年の紅葉ウォークは震災の為中止となってしまいました。今年こそはと意気込んでいたのですが何のイベントも成功の可否は天気だいの感があり前日の天気予報では高い山は雪との予報に最悪は現地での中止も考えて気をもんでいました。

10月23日当日の朝、意を決し三国に向かえば予報のとおりダム上流の山は白い雪に覆われ、今シーズン初の雪にびっくりしました。当然の事ながら参加者も減るのではないかと感じていましたが定刻どおり皆さん集まっていたさ十字峡より内膳落合まで4.5キロの道のり。最年少は5歳の女の子も白い息を吐きながらお母さんに手を引かれ頑張っていました。目的地、内膳落合では昼食も、そこそこに誰とはなしにキノコ採りが始まり、案内の江部さんに「うまそうにツキヨタケ」と笑われていました。この奥、6キロ先で群馬県の藤原ダムの上にてどか…。三国川の上流は新潟、群馬、福島と三つの国で三国(サンクニ)がなまってサグリになったのかと考えたのですが真偽の程は定かではありません。途中の虹の滝は落ちる飛沫が太陽に照らされて虹が見えることからとの事です。実際に虹を見させていただきました。

来春の新緑ウォークは山野草、野鳥の先生をお招きし、参加者に自然観察を楽しんでいただくこと企画しております。多数の皆様の参加をお待ちしております。

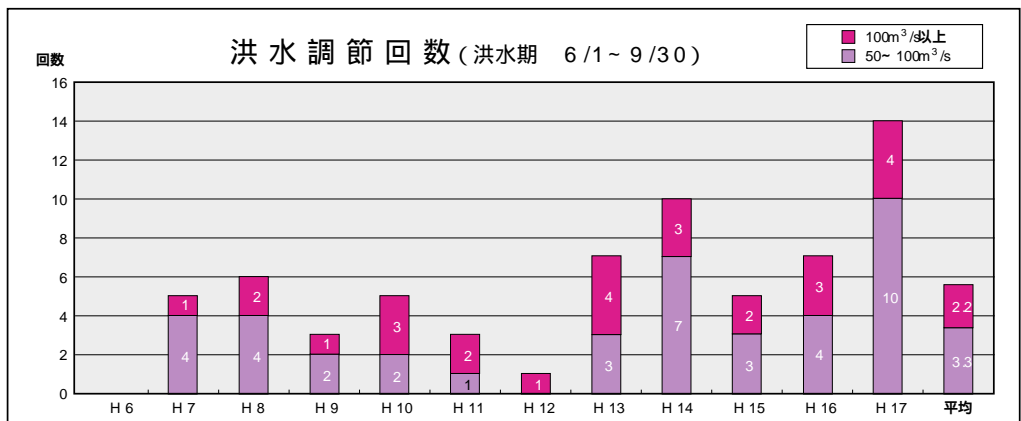
平成17年度洪水期を振り返って



三国川ダムでは、6月1日から9月30日までの間を「洪水期」と呼び、貯水位を下げ洪水に備えています。

昨年はこの間、管理開始以降最大の流入量(毎秒52.48立方メートル)を記録した6月28日の梅雨前線豪雨出水をはじめとし、14回の洪水調節(ダムへの流入量が毎秒50立方メートル以上)を行いました。

回数としては、過去の平均回数(4~5回)の約3倍にのぼり、非常に出水の多い洪水期でありましたが、三国川ダムではいづれの洪水においても所期の効果を発揮し、下流での被害の軽減を図りました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様お揃いで気持ちも新たに新春を迎えられたことと思います。

三国川ダムは、四季折々の美しさを見せてくれますが、今は一面の銀世界となり、夏の賑わいとはうらはらにひっそりと静まりかえる季節となりました。でも、冬の晴れ間に見える「白い山々」と「青い空」は何とも素晴らしく、力強い一枚の絵になりそうです。冬期間は、あまり人が来ることのない所ですが、お天気の良い日でも雪景色を見に出かけてみてはいかがでしょうか?

今年も「ダムっ湖」を皆様により親しんで頂けるよう頑張りますので引き続きよろしく願い致します。
(編集部一同)

編集・発行

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼市清水瀬 686-59
TEL(025)774-3015
FAX(025)774-3092
http://www.hrrm.lit.go.jp/saguri/



シャッピー